

らその結果は恐るべきものがある。マルサス主義は子供を制限するには有効であるが社會上に不幸な結果を齎らすものである。多くの人々は宗教家の所謂禁欲は出来なない。結婚を遅くすれば如何なる結果となるか。文明國にも野蠻國にも賤業婦の存在するのは何を語るか。文明は一面には知識が増すが他面に於ては男女間の道徳が墮落するのである。日本には藝妓娼妓の數が十萬人以上ある。賤業婦の存在せぬ國はない、その結果梅毒にかゝるものが多い、人種の墮落となる。マルサス主義はこの結果を生かからいけなないといふので、新マルサス主義が四五十年前に發見せられた。この主義は人口制限といふ點に於ては舊マルサス主義とは異ならないが制限方法に於ては大に異つて居る。

私は賤業婦を除く爲に成るべく早婚せよといふのである、若いものは早く家庭を持つてと誰しも考へるのである、東京へ田舎の學生が随分來てゐる、その内金持ちの子弟は嫁を買つて共に勉強して居るが